

平成24年度事業計画

基金の運用による果実を事業運営の柱としている当財団にとっては、長期間続いている超低金利、歴史的な円高、及びEUにおける信用不安が世界経済に与えている悪影響等によって資金運用は依然として氷河期の状態にある。こうした厳しい環境下ではあるが平成23年度の事業はほぼ計画通り終了する見込みである。しかし、資金運用面では残念ながら収益が予算の34,731千円を2,000千円ほど下回る32,800千円程度が見込まれる。当財団としては、ここ数年支出が運用収入を大幅に超過しており基金の取崩しにより帳尻を合せてきたが、24年度も避けられそうにない状況である。

こうした厳しい環境下ではあるが公益財団としての使命を考え、平成24年度事業計画・予算を作成したが、残念ながら助成金の一部を削減せざるを得なかった。具体的には自然科学の研究助成費を10%カットすることを提案したい。なお、その他の褒賞(公2)、調査研究(公3)、音楽(公4)の各事業は従来どおりの事業を計画した。また、管理費については昨年度退職者の補充を行わず、効率化をはかり事業運営を行っていく所存である。24年度の事業概要は以下のとおりである。

事業概要

(1) 自然科学研究助成(公1)

①学術研究助成(第25回松尾学術研究助成)

対象研究分野	原子分子物理学及び量子エレクトロニクスの基礎に関する実験的・理論的研究。
助成対象者	大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者
推薦者	財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等
助成金額	総額2000万円(対前年比△200万円)
件数	4～5件(1件当たり200～400万円)
募集期間	4月1日～7月31日
審査・決定	自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9月中旬予定)

②研究集会・国際共同研究の開催及びこれらへの参加に対する助成

対象研究分野	前記学術研究助成の分野
助成対象者	研究集会開催責任者、国際共同研究にあつては代表研究者 海外の国際会議に出席し、対象研究分野の研究論文発表を行う若手研究者
助成費	総額50万円(2～3件)
募集	随時受付

審査・決定 選考委員長の審査を経て、理事長が決定する。

(2)褒賞 (公2)

①松尾財団宅間宏記念学術賞

授賞対象者 原子分子物理学と量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者(若手研究者を優先)

推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

賞金と件数 原則として1件 賞金200万円

募集期間 4月1日～7月29日

審査・決定 審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

②(堀素夫賞)

授賞対象者 確率・統計分野で、特に数理的研究業績が顕著と認められる研究者。
年齢不問

推薦者 関係する分野の学識経験者

賞金と件数 原則として1件 賞金200万円

募集期間 追って決定

審査・決定 追って決定

(3)調査研究 (公3)

2011年は突如として3.11複合大災害が起こり、それを契機に様々なメディアを通してあらたに「自然と人為のあり方」や「科学技術と諸科学の在り方」が広く問われ、「科学と政策の新しい連関」を模索する動きがあったので、その動向を「自然科学と人文科学の両面性」という当財団の調査研究の基本前提を踏まえて「総括的人間の安全保障と科学と政策の新しい連関の省察」という研究報告書にまとめたが、当年は、その研究報告をもとに研究会を開催し、研究提言書として関係各所に配信して信を問いたい。予算として、研究調査費、会議費、印刷配信費合せて270万円余を計上する。

(4)音楽助成 (公4)

①音楽助成(松尾音楽助成)

優れた若手弦楽四重奏団の育成を目的とする音楽助成で、当財団の特色ある助成として実施する。

対象 若手の弦楽四重奏団(平均年齢35歳以下)

推薦者 財団の定める音楽大学、管弦楽団、又は財団役員を含む音楽界有識者

助成金額 総額400万円(助成期間1年)

助成団体	助成団体 1～2 団体
募集期間	5 月 1 日～12 月 28 日
審査・決定	書類選考の後、翌年 2 月オーディションを行い音楽選考委員会の審査を経て、理事会において決定する。

②コンサートの開催

すでに松尾音楽助成を受けた団体の研修成果の発表の場として、一般聴衆を対象とした入場無料のマツオコンサートを開催する。(翌年 3 月、津田ホール)

自然科学選考委員会(学術研究助成・褒賞)

*委員長

委員 桜井 捷海(東京大学名誉教授)
 市川 行和(宇宙科学研究所名誉教授)
 加藤 義章(光産業創成大学院大学教授)
 小林 信夫(東京都立大学名誉教授)
 藪崎 努(京都大学名誉教授)

*他に新任予定 2 名

*・・・第 4 号議案にてご審議いただきます。

音楽選考委員会

委員長 岡山 潔(東京藝術大学名誉教授)
 委員 大谷 康子(東京音楽大学教授)
 川崎 和憲(東京藝術大学准教授)
 澤 和樹(東京藝術大学教授)
 原田 幸一郎(桐朋学園大学教授)
 山崎 伸子(東京藝術大学教授)

以上

平成24年度収支予算書(事業区分別経理)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

	公益目的事業会計						法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通	小計		
	自然科学助成	褒賞	調査研究	音楽助成				
I 一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
(1)経常収益								
①基本財産運用益						0		0
基本財産利息	4,332,000	1,062,000	1,178,000	1,444,000	282,000	8,298,000	8,298,000	16,596,000
②特定資産運用益						0		0
特定資産利息	4,737,000	1,183,000	1,292,000	1,583,000	331,000	9,126,000	3,910,000	13,036,000
③受取寄付金						0		0
④雑収益					0	0	4,000	4,000
経常収益計	9,069,000	2,245,000	2,470,000	3,027,000	613,000	17,424,000	12,212,000	29,636,000
(2)経常費用								
①.事業費								
助成費	20,500,000			5,295,000		25,795,000		25,795,000
褒賞費		4,000,000				4,000,000		4,000,000
調査研究費			2,720,000			2,720,000		2,720,000
選考費	1,718,000	862,000		1,765,000		4,345,000		4,345,000
役員報酬	1,470,000	840,000	3,360,000	210,000		5,880,000		5,880,000
給料手当	800,000	200,000	0	988,000		1,988,000		1,988,000
退職給付費用	372,000	194,000	720,000	116,000		1,402,000		1,402,000
法定福利費					15,000	15,000		15,000
会議費	600,000	129,000				729,000		729,000
旅費交通費	142,000	61,000	136,000	67,000		406,000		406,000
通信運搬費	195,000	61,000	90,000	145,000		491,000		491,000
消耗什器備品費					15,000	15,000		15,000
事務用消耗品費	53,000	13,000	26,000	39,000		131,000		131,000
印刷製本費	29,000	7,000	14,000	22,000		72,000		72,000
借室費					1,626,000	1,626,000		1,626,000
②管理費								0
役員報酬						0	2,520,000	2,520,000
給料手当						0	1,988,000	1,988,000
退職給付費用						0	682,000	682,000
法定福利費						0	3,000	3,000
会議費						0	890,000	890,000
旅費交通費						0	310,000	310,000
通信運搬費						0	453,000	453,000
消耗什器備品費						0	80,000	80,000
事務用消耗品費						0	134,000	134,000
印刷製本費						0	508,000	508,000
借室費						0	1,626,000	1,626,000
図書費						0	130,000	130,000
雑費						0	1,363,000	1,363,000
経常費用計	25,879,000	6,367,000	7,066,000	8,647,000	1,656,000	49,615,000	10,687,000	60,302,000
評価損益等調整前	-16,810,000	-4,122,000	-4,596,000	-5,620,000	-1,043,000	-32,191,000	1,525,000	-30,666,000
基本財産評価損益等								
特定資産評価損益等								
投資有価証券評価損益等								
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-16,810,000	-4,122,000	-4,596,000	-5,620,000	-1,043,000	-32,191,000	1,525,000	-30,666,000
2.経常外増減額の部								0
(1)経常外収益								0
(2)経常外費用								0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減	-16,810,000	-4,122,000	-4,596,000	-5,620,000	-1,043,000	-32,191,000	1,525,000	-30,666,000
II 指定正味財産増減の部						0		0
当期指定正味財産増減額								
III 当期正味財産増減額	-16,810,000	-4,122,000	-4,596,000	-5,620,000	-1,043,000	-32,191,000	1,525,000	-30,666,000